



潟小だより

上越市立大潟町小学校

E-mail ohgata-e@jorne.or.jp

令和6年10月24日

前期学校評価アンケートの結果から

ご多用の中、学校評価アンケートへのご回答、誠にありがとうございました。遅くなりましたが、結果と改善策等についてお知らせします。

【児童アンケート】

①学校に、来るのが
楽しい

②クラスやJチームの
活動では、仲良く助
け合っている

③相手のことを思いや
る、やさしい言葉を
使っている

④授業中、先生や友達
の話を、しっかり聞いて
いる

⑤授業中、自分の考え
をノートやワークシ
ートに書いたり、友達
に伝えたりしている

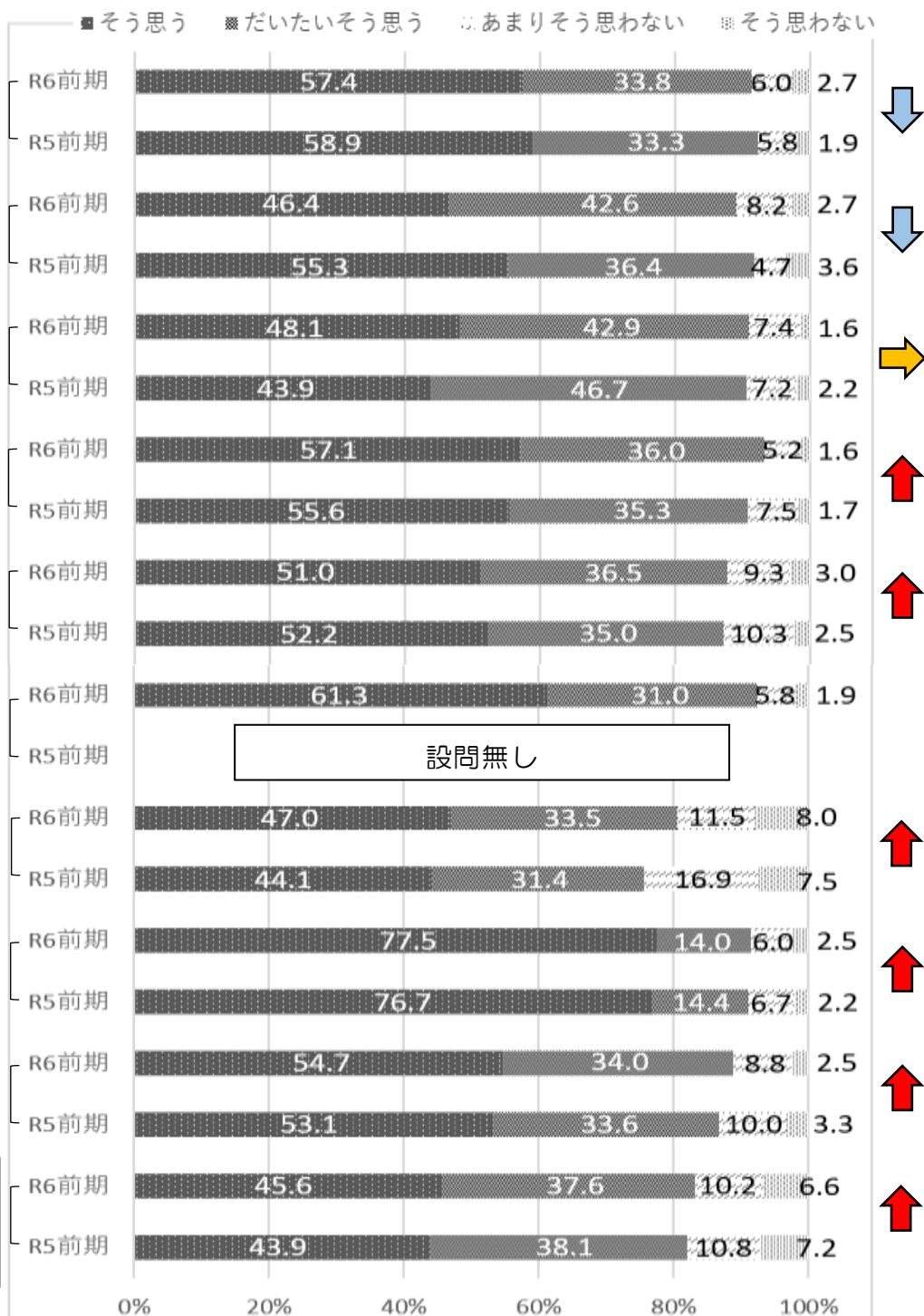
⑥授業が分かる

⑦家で学年×10分以
上、家庭学習（宿
題、自主学習、読書
など）をしている

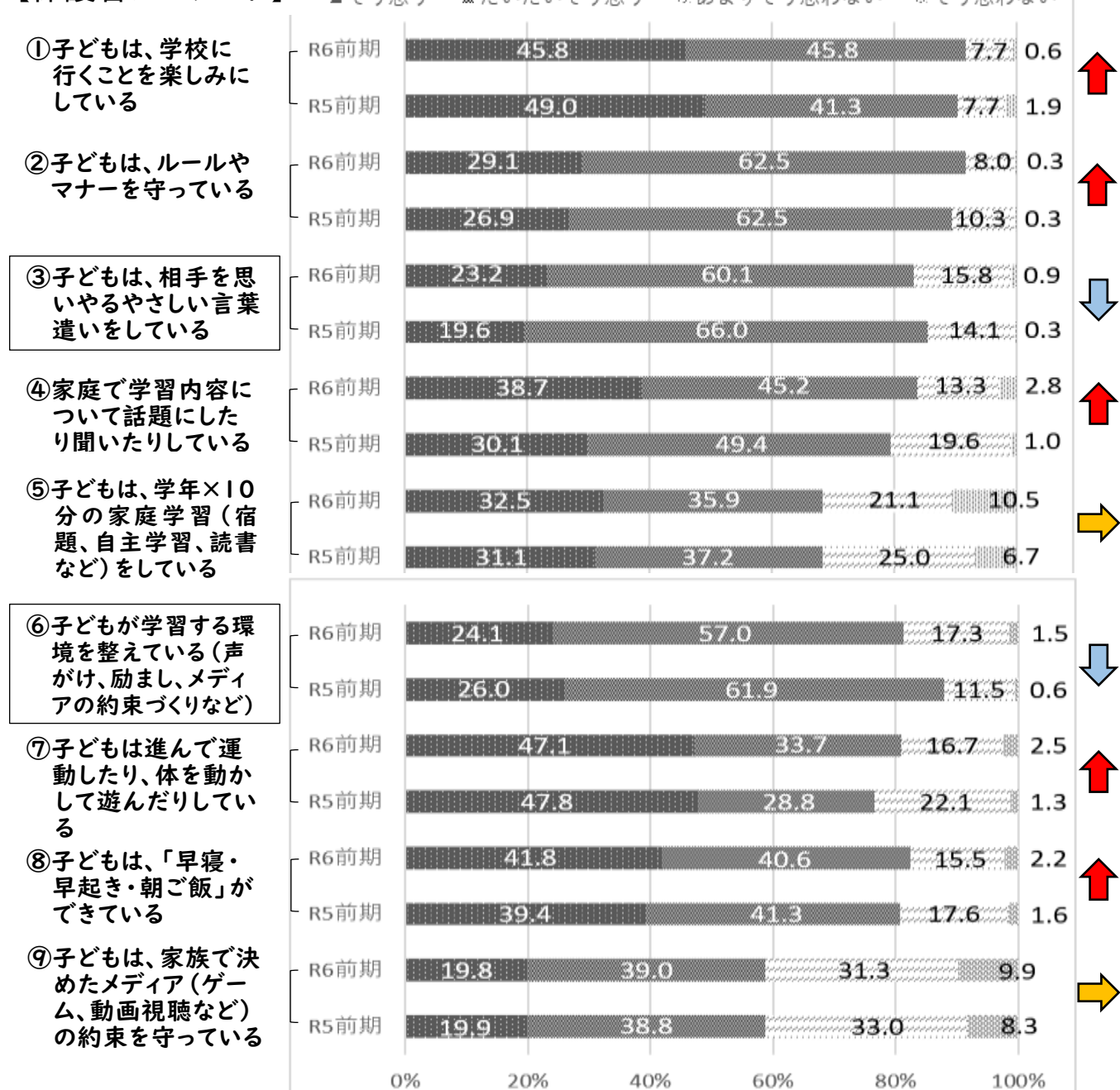
⑧体を動かすこと（運
動や外遊び）や体
育の授業が好きだ

⑨早寝・早起き・朝ご
はんを守って、元氣
に過ごしている

⑩家族で決めたメディ
ア（ゲームや動画）
などの約束を守って
いる



【保護者アンケート】



当校の課題は「言葉遣い」と「メディア接触」

全体的に昨年度同時期の結果よりも、良くなっている項目がたくさんありました。

児童アンケート「④授業中、先生や友達の話を、しっかり聞いている」や、保護者アンケート「②子どもは、ルールやマナーを守っている」で肯定的評価が増加しました。上級生が全校に良い影響を与え、少しずつではありますが、全体的に良くなっているように感じられます。

保護者アンケート「④家庭で学習内容について話題にしたり聞いたりしている」で肯定的評価が増加しました。学校での活動の様子を子どもが家庭で話し、保護者の皆様が認めたり褒めたりしてくださっていることなのでしょう。こういうことが学校生活の意欲をさらに高める良い循環になります。とてもうれしく思います。

「運動や外遊び」「早寝・早起き・朝ごはん」の項目（児童は⑧⑨、保護者は⑦⑧）

では、児童・保護者共に肯定的評価が微増しました。特に「早寝・早起き・朝ごはん」の項目は、保護者の皆様からたくさんご協力をいただいている成果です。改めて感謝申し上げます。

一方、昨年度低かった2項目、「相手を思いやる言葉遣い」（児童③、保護者③）と「メディアとのかかわり方」（児童⑩、保護者⑨）については、まだまだ改善の余地があるといえます。そこで、改善策を以下に示します。

◆相手を思いやる言葉遣い

自由記述に次のような指摘がありました。

・毎日楽しく、心も身体も元気に学校に通えていて安心です。いろいろな友達と遊んだ話が聞かれ嬉しい反面、「叩かれた」「意地悪な事を言われた」と聞くこともあります。暴力、暴言のない学年であつたらいいと思います。

子どもたちは日々元気いっぱい学校生活を過ごしています。しかし、相手の気持ちを考えることなく、簡単に傷付ける言葉を発したり、乱暴な態度を取ったりすることがあります。そのような言動を受けた子どもは、深く傷付きます。

学校では、こうしたトラブルがあったとき、その都度、事実を確認し、互いが納得する話し合いを通して子どもと一緒に解決策を考えることを繰り返しています。周りにいた子どもたちも、「それはおかしい」と注意をしたり、止めに入ったり、すぐに職員に知らせてくれたりしています。これからも個人の成長と集団としての自治能力を高めていくことを大切にしながら、学校目標である「幸せな学校」づくりに努めていきます。

相手を傷付ける暴言や暴力は絶対に許されません。日々、子どもの頑張っている部分を大いに認めながらも、「暴言や暴力は絶対にダメ」と学校と家庭で言って聞かせ、その言動を正していきましょう。

◆クラスやJチームの活動の充実

児童アンケート「②クラスやJチームの活動では、仲良く助け合っている」で「そう思う」と回答した割合が、昨年度より減少しました。「だいたいそう思う」も加えた肯定的評価でも微減でした。これは、Jチームとしての大きな活動が1学期に少なかったことが影響したのかもしれませんが。

仲間とのかかわりの中で、子どもたちは多くの社会性を培います。もちろん、こうしたかかわりがいつもうまくいくとは限りません。ときには関係性がよそよそしくなったり、逆にわがままが抑えられず関係性がギクシャクしたりすることもあります。その中で、互いの違いや個性を少しずつ理解しながら、また、グループやチームの一員として自分がどんな役割を担ったり、責任を果たしたりしていくか、どう参加していくかを体験的に学んでいきます。

学校では、「絆タイム」と称して、週1回、クラスや学年での仲間づくりの活動を行っています。また、2学期はJチームでの校内ウオーラリーや学校行事を経てのメッセージ交換等、様々な異学年交流があります。こうした活動への事前・事後の働き

かけにより、仲間とのよりよいかかわり方を、子ども自身が身に付けるようにしたいと考えています。

◆メディアとのかかわり方

児童アンケート「⑩家族で決めたメディア（ゲームや動画）などの約束を守っている」の肯定的評価が8割強で昨年度より微増しました。しかし、保護者アンケート⑨の肯定的評価は6割弱で変わらず、「そう思わない」の回答が1.6ポイント増加しました。子どもの自己評価と保護者の皆様の評価が乖離しています。

また、児童アンケート「⑦家で学年×10分以上、家庭学習（宿題、自主学習、読書など）をしている」と保護者アンケート⑤でも同様の傾向がありました。子どもの自己評価は甘くなりがちで、保護者の皆様は冷静に見ておられるのではないかと考えられます。

一方で、保護者アンケート「⑥子どもが学習する環境を整えている（声かけ、励まし、メディアの約束づくりなど）」の肯定的評価が減少しています。自由記述にもこのような指摘がありました。

・宿題や家庭学習に声掛けするも、反抗的な態度を取り困っています。
メディアの約束を決めても守ろうとしません。



保護者の皆様の中には、多かれ少なかれ似たような悩みをお持ちの方もいらっしゃるのではないかと思います。ここで大切なのは、子ども自身が納得する形での約束になっているかです。一方的に、家族から「メディアの約束」を押し付けられただけでは守れません。

子ども自身がどのようにメディアとかわかっていきたいと考えるのか、具体的にどの程度なら自分で守れると考えるのか、家庭全体でメディア環境をどのように整えていくのか、ゲームや動画視聴等の依存症（病気）には今後どのような問題が起きていくのかなど、丁寧に伝えながら子どもと一緒に「メディアの約束」を作り上げていくことが重要です。

メディアと家庭学習の時間には強い相関関係があります。「元気アップ大湯」の取組もきっかけに、各ご家庭でメディアを含めた時間の有効な使い方について、ぜひ話し合ってください。

宿題や家庭学習等、学習面に関して困っているときには学級担任に連絡ください。宿題については、子どもの実態に合った内容や量にしていきます。

4 すべてのご家庭に

我が家のルールは
オーダーメイドで

大切なのは、 こどもの成長にあわせた ルールづくり

ペアレンタルコントロールから
セルフコントロールへ

発達段階に合わせて、フィルタリングを含むペアレンタルコントロール機能を上手に活用して、子どもたちを守ってあげましょう。

※ペアレンタルコントロールとは、フィルタリングの利用や親子のルールづくり等により、こどもの発達段階に応じてインターネット利用を保護者が適切に管理することです。

こどもの成長

自律期
・道徳心
・判断力

他律期
・ルール
・安全設定

保護者の見守り

ルールをつくる・
見直すタイミングは？

スマホを買う時、入園・進学・進級などのライフイベント時に、また夏休みや冬休みに親子で見直しを！

親子で話し合い、ルールを共有しよう

ルールを守れなかったら罰金しよう

話し合い、こどもの権利と保護者の責任を認識しよう

ルールにそってやってみよう

ルールを守れなかったら罰金しよう

親子で話し合い、ルールを共有しよう

家族で話し合って、ルールの見直しや更新をお互いが納得したルールは続きやすい！

【こども家庭庁 普及活動リーフレットより】

【保護者アンケート 自由記述から】

※全体にかかわるご意見を中心に抜粋しています。

- ・まだクラスのざわつきが直らないと聞いている。担任が困っているときは周りの職員みんなでサポートし、ケアしてあげてほしい。ざわつきの原因をつくる児童にはもっと耳を傾け、理解し寄り添ってあげてほしい。
- ・授業に集中できる環境になっていない。周りの子への対処に悩まされてかわいそうに思う。
- ・学級崩壊していると思う。補助の先生も手一杯で授業が分からない子がいても、フォローできていない。
- ・授業が淡々としていて、もっとイラストや図やチョークの色を駆使して説明してほしい。

→ ご心配をおかけして申し訳ありません。学習規律の問題や個別の支援については、担任一人ではなく、学年で少人数指導を取り入れたり、教育補助員や級外職員等、様々な職員が教室に入ったりしながら、学校として組織的に改善を図っています。また、上越教育大学の支援プロジェクトとして、大学院生からもサポートしていただいています。参観日ではなくても授業を観に来ていただき、気付いたことがあれば教えていただけるとありがたいです。



- ・コロナ禍が収まってきているので、運動会など、また1日やってもよいと思う。持久走大会も復活させてもらいたい。
- ・運動会が半日開催なのは良いですが、内容があまり面白くないと思う。走る競技は、徒競走か全員リレーかのどちらかで良い。応援賞はやめて、応援も一つの競技として採点して加算される方がよい。今年のように片方が両方勝ってしまうと、負けた方は酷かなと感じた。



→ 運動会は半日日程としましたが、コロナだけが理由ではありません。熱中症対策と子どもたちの体力低下も理由としてあります。5月下旬は急に暑くなる時期です。暑さに慣れていない子どもたちが1日炎天下で活動することは、とても危険です。また、低学年は午後までは体力がもちません。

種目については、基本的には、教科の体育の延長として考えています。しかし、学校としても見直しの声が上がっています。来年度に向けて見直していく予定です。

応援賞の件は、変更は考えていません。勝負なので当然勝ったり負けたりすることがあります。単に勝ち負けだけでなく、当日に向けての頑張りや各組の団結、互いの健闘を認め合うことも含めて、教育的価値はとても高いと考えています。

持久走については、現在、学年ごとに「記録会」として実施しています。秋の天気は変わりやすく、天候によっては子どもの体調やグラウンドコンディションに影響を与えます。そのため、全校一斉の実施ではなく、柔軟に学年ごとの実施にしています。



- ・親参加のイベント事が多すぎる。参加は任意だとしても、子どもの気持ちを考えると無理に参加をしなければいけないような現状と捉えている。
- ・学習参観が今年は年 4 回に減っているが、5 回くらいはあっても良いのでは。職場に小学生の親がたくさんいると休みを取りづらいので、4 月の総会は金曜に偏らず、他校と日をずらしてもらとうとありがたい。

→ 学校としては保護者の皆様の負担を考え、学校に来ていただくのは行事や学習参観・個別懇談等で、月に 1 回と考えています。その他に、学年 PTC や PTA 専門部会等でお越しいただくこともあるかと思います。4 月の総会については、曜日ではなく、他の行事・活動の期日や大湊町中学校と重ならない期日としています。

- ・うちの子も含めてだが、地域の大人と挨拶をしない子がほとんど。大人が挨拶をしても返ってこない。気持ちよい挨拶が交わせる子どもになってほしい。

→ 挨拶については生活委員会の子どもも、朝、児童玄関前に立ち、率先して全校児童に挨拶をしています。さらに、お昼の放送でよかった学年や通学班などを伝えています。学校でも、月のめあてとして取り組んでいます。引き続き、指導を続けていきます。



10 月中旬に行われた「大湊区民生委員、児童委員と大湊町小学校との懇談会」では、地域での子どもたちの挨拶が、昨年度よりも、また今年度の 4 月よりも、とても良くなっているという声をたくさんいただきました。今後とも、ご家庭や地域と協力しながら気持ちよい挨拶が交わせる子どもの育成に努めてまいります。

- ・夏の暑さ、冬の雪道を考えると、バス通学を検討してほしい。同じ地区内でも歩きの子とバスの子がいるが、距離的にそう違わないのに納得できない部分がある。



→ JR やバスについては、市教育委員会が取り決めた JR やバス通学に関する規定があり、学校独自で決められません。現在、スクールバスや路線バス、JR を利用している地区は、この規定に則ったものです。近年、夏の猛暑や冬の積雪量が変化してきているため、遠距離の徒歩通学の安全面が懸念されます。学校としても要望を出していきます。

- ・校支援アプリで欠席連絡をできるようにしてほしい。
- ・写真付きの学年だよりをもらうことがあるが、カラーで見たいのでホームページに載せてほしい。

→ 校支援アプリでの欠席連絡については、10 月より開始いたしました。ホームページは、不特定多数がオンラインで閲覧できますので、個人が特定されるような写真を載せることができません。今後、校支援アプリを使って学年だよりを配信することを検討していきます。

・内履きと外履きの区別をするために、できれば児童玄関に、すのこがあるとよいと思う。

→ 児童玄関が非常に狭く、傘立ても必要であるため、すのこを置くスペースが不十分です。現在は 1 年生の靴箱の前にのみ、すのこを設置しています。内履きと外履きの区別については今後も指導を徹底していきます。



・連絡事項が遅く感じられる。各学年のホームページ投稿数に差がある。

・感染症等で数日学校を休む場合、オンラインでも授業を受けられるようにしてほしい。



→ 全体に関わる学校行事などは年間行事予定に掲載しております。また、案内は 1 か月前を目処に出していますのでご確認ください。各学年の HP 記事については、2 週間に 1 本アップすることを目標に 4 月から取り組んでいます。

→ 対象の学年や教科によりますが、オンラインでの授業参加は可能です。ご相談ください。

・学校は楽しいようだ。ただ、放課後児童クラブでの過ごし方に対して、非常に嫌がる。連携を引き続きお願いしたい。

→ ありがとうございます。放課後児童クラブについては、市教育委員会学童保育係（Tel：545-9244）へご相談ください。



・PTA 役員が決まったにも関わらず、理由があるにせよ辞退免除されることに不公平感がある。PTA 役員の在り方を再度確認する必要があるのではないか。

→ 今年度、PTA 幹事の皆様が中心となって PTA 規約の改正を準備されています。今後、PTA から示されると思いますのでお待ちください。



いただいたご意見について、改善策等をお示しました。また、今回掲載した以外にも貴重なご意見をたくさん賜りました。皆様のご意見を基に改善を図り、より“幸せな学校”になるように努めてまいります。

学校評価アンケートは、2 学期末も実施致しますので、ご協力をよろしくお願い致します。

<このようなメッセージもいただきました！ありがとうございます>

・忙しい中、些細なことでもすぐに対応していただけるのでありがたい。潟小だよりは、「いつも温もりのあるおたよりで、幸せな気持ちになるね」と家族で話している。

・いきいきと学校生活を送ることができている。学校行事も個々に寄り添った形で運営してくださっていることが分かり、素晴らしいと思う。

・ここ数年、朝の交通安全当番をしていて思うのは、挨拶が年々良くなっていること。参観日に校舎に入ると、校舎内や教室がきちんと整理されていてきれいだと思う。どちらも是非続けてほしい。



・毎日、宿題や自主学習を丁寧に見ていただき、感謝している。自主学習では先生からのコメントを楽しみにしていて、それを励みに頑張っているようだ。漢字のミニテストを学年が上がっても継続してほしい。算数のミニテストもやってもらえると苦手な算数を少しずつ克服できるのではないかと感じている。

・先生方には、子どもに合った指導方法を考えていただき、感謝している。担任の先生はもちろん、サポートの先生、校長先生の話たくさんしてくれる。

・タブレット学習が楽しいようで、みるみる間にタイピングが速くなった。家では時間を決めて取り組んでいる。ゲームではなく、学習としてタブレット利用ができれば力が付くので、ありがたいと感じる。

・娘が放送委員になり、お昼の放送に伴って給食を食べる時間が少ないと聞いて心配していた。今では、早く教室に戻ることができ安心している。仕事の方法を改善してくださり、ありがたい。



・給食の献立表を子どもが楽しみに見ている。苦手な魚も美味しく食べられたと言っている。

・毎日前向きに登校できている。先生方のご指導、声掛けのおかげと感謝している。



(文責 教頭)